

株式会社豊亜精密

考案と俊敏性でアルミダイカストの可能性を広げる

納期相談
コスト相談
オンリー技術
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応



工場内風景

主な事業内容

アルミダイカスト製品の精密加工、その他金属加工

主な取引先(納入先)

自動車部品、農機具、オートバイ、その他アルミ部品メーカー

主な製品

自動車のクラッチ関係、田植え機、稲刈り機の各種部品など

業務内容
家電製品から自動車・農機具にシフト

豊亜精密は、亜細亜の国々を豊かにという思いから、昭和46年に前身となる豊亜精密工業所として創業。汎用旋盤による加工を得意とし、当時はカメラやビデオデッキなどの加工を行っていた。その後、ビデオデッキの普及拡大を受け、昭和59年に現社名として設立し、家電製品やPCなどの部品製造も開始した。

現在は、自動車部品や農機具などのアルミダイカストの二次加工を行っており、クラッチ関係の自動車部品がメインとなっている。そのほか、自動二輪車はオイルポンプやポンプカバーなど、農機具部品は田植え機、稲刈り機、草刈り機の駆動部、ステアリング、エンジンなど様々な部品を加工する。

強み
高い発想力で
高品質な加工を実現

同社は、小物から手のひらサイズまでの製品を得意とする。マシニングセンターで用いる加工治具からNC旋盤のチャック爪の製作までも自社で手がけるため異形物加工に対応できるだけでなく、低コスト化にもつなげている。24時間操業も可能で、自動搬送機付きのNC旋盤が2台あり、月産20万個以上の加工実績がある。

苦情
品質管理
取引先も認めた

同社が輝きを放つのは独自の発想力。高精度が要求される自動車部品の切削加工では、チャッキング時の着座不良の検出などを目的に着座センサが使用される。これに対し、同社は特殊な刃物を考案したりワークの把持方法を工夫したりすることで、着座センサなしで高精度な加工を実現。しかも、数年間にわたり不良クレームゼロを達成し、取引先から表彰された経験もある。設備投資に制約がある小規模事業者ならではのといえ、このような発想力が強みとなっている。

最近では、事業再構築補助金を活用してブラザー工業製2軸NC円テーブル付きタッピングマシンなどを新規に導入。斜め穴加工をはじめ対応可能な加工が大幅に拡大するとともに、さらなる工程の短縮ならびにコスト削減につなげた。

また、品質管理においても、いち早く導入した3次元測定機や粗さ測定機、形状測定機、真円度測定機に加え、ものづくり補助金を活用してキーエンス製3次元測定機を導入。検査体制を強化している。さらには、整理・整頓・清掃の3Sの徹底はもちろん、独自の管理体制による品質保証体系を作り上げていく。こうした取り組みも、不良クレームゼロに大きく貢献し、取引先からの評価と表彰につながっている。

社長あいさつ

代表取締役
児玉 純さん

社名の「豊亜」は、アジアの国々が豊かになってほしいという思いから付けられました。貸工場から事業を開始し、事業の拡大に伴い、平成29年には新社屋も完成しました。これからも、創業時の気持ちを大切に、地域と人、環境にやさしく、SDGsに貢献する会社をめざします。

主な保有設備

- タッピングマシン SPEEDIO S700X2ほか
ブラザー工業製ほか 4台
- マシニングセンタ VM4II
ニデックオーケーケー製 1台
- CNC旋盤 SNC-20PI ほか
西部電機製ほか 11台
- 3次元測定機 SP600Aほか
東京精密製ほか 7台

大阪
06

住所 / 〒578-0901
東大阪市加納
6-3-33

TEL / 072-813-1473

FAX / 072-813-1255

創業 / 昭和46年3月

設立 / 昭和59年3月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 21名



3次元測定機と真円度測定機



ブラザー工業製複合加工機



<https://houa-seimitsu.com/>